

第1回 東静岡地区まちづくり協議会 議事録

1. 日 時 令和6年7月11日(木) 10:00~11:30

2. 場 所 静岡市役所静岡庁舎 本館3階 第1委員会室

3. 出席者 別紙 委員名簿のとおり

4. 傍聴者 16人

5. 議 事

(1)「東静岡地区のまちづくりの考え方」について

(2)「まちづくりアイデアコンペ in 東静岡」について

- ・(田宮委員) 道路の広さや供用するスペースを確保するための規制は設けないのか。
 - (遠藤委員) まちづくりを進めていく考え方もどこかに含まれると良いのではないかと
いうこと。
 - (事務局) 歩行者や車が増えることも予想されるので、ご意見いただいたことをビジョ
ンに含めていきたい。
 - (遠藤委員) ビジョン等に盛り込んでいただければと思う。
- ・(平形委員)「まちをつかう」とは、どのようなイメージか。
 - (事務局) 皆様に伝わりにくいということであれば、部門名を再検討していきたい。「東
静岡駅の自由通路をどのような使いたいか」「グランシップ前の広場をどのように使
いたいか」等のまちの使い方のアイデアをいただきたく、「まちをつかう部門」という
名前で設定をした。
 - (遠藤委員) 私も分かりにくいと感じた。意味が分かりやすい方が応募しやすいことか
ら、「まちづくり活動部門」でも良いのではないか。
 - (事務局) ご提案頂いたことを参考に検討を進める。
- ・(柴委員) 静岡県民は、奥ゆかしくて上品である一方で、発言力が弱いという県民性があ
る。地域の方にアリーナが必要だと考えていただけなのかが重要である。
 - (遠藤委員) 静岡の県民性を考慮し、鼓舞するような発信をしていくことが必要である。
 - (事務局) 住民の方々には丁寧の説明をしていきたい。

- ・(田宮委員) 鉄道を動かすことは考えていないのか。
 - (平井委員) 選択肢としてはあるが、費用がかかる。
 - (田宮委員) 鉄道を挟み、どちらにも行ける道はつくらないのか。
 - (遠藤委員) 通路をつなぐような構想はあるのか。
 - (事務局) 現時点での計画はないが、議論が進む中で必須になってくれば構想に取り込む可能性はある。

- ・(柴委員) 長沼駅を西側に移動することで利便性が向上する。西側に移設することは考えていないのか。
 - (池谷委員) 選択肢としてはあるが、事業費がかかってしまうのが現状である。
 - (柴委員) 可能性はあるのか。
 - (池谷委員) 可能性としてはある。

- ・(中村委員) 現状の交通システムが人に優しくない。将来の高齢化を考えると、平面的な移動通路を考えてもらいたい。どのように横断するのかをビジョンに入れてもらいたい。アリーナや図書館への人の流動は鉄道でカバーできるのか。
 - (事務局) 誰でも移動しやすいまちづくりということは考えている。また、技術の革新の中で新たなモビリティも踏まえた基本構想にしていきたい。
 - (遠藤委員) 場合によってはバリアフリーやユニバーサルデザインを入れることが必要かもしれない。
 - (柴委員) 将来的に長沼駅の高架を考えていただきたい。

- ・(杉山委員) 資料3“東静岡地区のまちづくりの考え方”p.1の「今までの50年間と、これからの50年間は、世の中が大きく変わることが予想される」という記載の部分の「50年」という表現が時勢から外れていないか、緊迫感をもった表現の方が良いと思う。また、「若者が『ずっと住み続けたい』」という記載の部分では、マンションの立地による地価の高騰化等の背景を踏まえると、「若者が来たいと思うまち」でよいと思う。「居心地が良く」という表現がピンとこない。ペDESTリアンデッキはどのようなルートを通るのか。長沼駅には静岡鉄道の操車場があり、車両と富士山の写真が撮れるスポットとして人気があるようである。そのようなポテンシャルを活かし、鉄道や富士山の眺め等の眺望を考慮したルートを考えていただきたい。
 - (事務局) いただいた意見を基に表現の検討を進めたい。「居心地が良く」とは、歩いていて楽しい空間を意味しており、室内に限らず外での人々の活動をイメージした表現であるが、分かりやすい表現になるように検討を進めたい。

- ・(大坪委員) ペDESTリアンデッキは歩行者と自動車を分けることができ、交通事故の観点からは有効な施策である。誰にでも優しいペDESTリアンデッキの設置が望ましいと感じている。自転車の動線の見直しも考えることが必要である。
 - (事務局) 自転車についてもまちづくりの考え方の中で、検討をさせていただきたい。
 - (杉山委員) 静岡は東西の交通網が発達している一方で、南北の交通網が疎かになっている。アリーナに来る際には自転車を利用してくると考えられるので、自転車に関する検討を進めていただきたい。
 - (事務局) アリーナ敷地内や近隣の駐輪場については、アリーナの基本計画の中で検討を進めたい。

- ・(柴委員) 自転車のまちのわりには、駐輪禁止区域が多く、自転車が優遇されていない。アリーナの場合にも駐輪禁止になってしまわないのが懸念点である。置いてはいけないという発想から、自転車を置いても良いという考えで進めていただきたい。
 - (遠藤委員) 自転車は、地域の総合的な環境と駐輪するための環境、ルールの設定等、複合的に考えなければならない。これまでの市の施策をアリーナの計画にも落とし込んで計画を進めていただきたい。

- ・(柴田委員) 「誰もが移動しやすい」というのは、移動手段を含めたものだと思う。自動車の運転手やベビーカーを押す人も含まれると思うので、「誰もが」に当てはまる人を幅広く考えてもらいたい。
 - (遠藤委員) 人や手段が固定されているものは、まちづくりの考え方の中に明記しても良いと思う。

- ・(大木委員) 地区周辺には学校も多いが、道路の拡幅や空間の再編も含めて検討してもらいたい。
 - (遠藤委員) 将来的に必要な用地や土地利用を考えるということ。
 - (事務局) 学校に通っている方や周辺で暮らしている方々が快適に暮らすために必要な整備がでてくれば、検討を進めていきたい。

- ・(田宮委員) 東静岡に来る人に焦点を当て、東静岡駅にデパートを入れる手もある。
 - (遠藤委員) 交流人口を増やすという観点でできることがあるのではないかとということ。

- ・(平形委員) 新県立中央図書館の駐車台数は現状の台数で計画しており、駐輪場についても附置義務分の確保を計画している。また、「静岡大学等の教育・研究施設、大谷・小鹿地区の産業・商業施設との連携」がどのようなイメージかをお伺いしたい。東静岡駅周辺には、障がい者支援施設や外国人の専門学校があるため、障害をもった方や外国人が移動しやすい工夫が出来たら良いと思う。
 - (事務局) 周辺と連携をし、東静岡に住んでいる人だけでなく、来る人のことも考えており、「東静岡地区のまちづくりイメージ図」で外とのつながりを示している。外国人や障がい者の利用も含めた検討を進めていきたい。
 - (遠藤委員) 東静岡と大谷をどのようにつなげていくのかも今回の大事なポイントである。

- ・(中村委員) 用途地域は変更するということか。また、身障者の方の意見も聞いた方がいいのではないか。
 - (事務局) 住民の土地利用をみながら、商業系の用途地域を増やすことを考えている。公共施設の整備に向けては、身障者の方の意見も把握し、反映していきたい。

- ・(平井委員) 「まちをつかう部門」と「都市デザイン部門」を並行して行うか、タイムラグを置いて行うのか、どちらがよいのか再検討していただきたい。いろいろなアイデアを取り込んでいくことが良いと思う。また、多様なまちづくりを行うためには、多様な方や幅広い世代の方の意見を釣り上げていくことが必要だと思う。「誰もが移動しやすいまちづくり」では、JR 東静岡駅～静岡鉄道長沼駅間の直線的なつながりだけでなく、それぞれの施設をつなぎ、みなさんがどのように歩くのが良いのかを示していくのが良いと思う。次世代交通では多様なモビリティを想定し、各モビリティに対応できる場所として公共スペースを活用できるといいと思う。人が集まれる空間、休憩できる空間を盛り込んでいただければと思う。都市機能の集中に合わせ、公共交通の利用促進についても構想に取り込んでいただきたい。
 - (事務局) 「まちをつかう部門」はすぐにでも活動ができることをイメージし、部門を設定させていただいた。この会議だけでなくいろいろな方の意見を伺っていきたい。どのように使えるのかを考えていきたい。余剰地や居心地の良い空間の活用についても検討を進めていきたい。公共交通の促進について、今後一緒に議論を進めていきたい。
 - (遠藤委員) まちづくりの考え方に公共交通の視点も入れていただきたい。

- ・(杉山委員) 東静岡地区のまちづくりの一環として、谷津山の自然も活かした計画にしていきたい。
 - (柴委員) 谷津山の開発は地元としても力を入れていきたい。

- ・(遠藤委員) 本日の議論をまちづくりの考え方に反映していただきたい。特に、抜けていた視点や指摘のあった言葉の表現について、ブラッシュアップをしていただきたい。応募作品の取り扱いについて、応募者は応募作品を市が無償で使用することを承諾していただくという表現は、応募者が興ざめしてしまうかもしれない。対処法として、賞金はなくとも記念品等の賞を設けるのも1つの手である。受賞作品を使用するという表現の方が、応募者との信頼関係が適切な気がする。書き方について、募集までに内容を詰めていただきたい。